

## 文字を入力してみよう

### 1 [テキスト]ツールで文字を入力する

サンプルデータの写真に文字を入れてグリーティングカード風に仕上げてみましょう。

①サンプルデータを開きます。[ツールボックス]の[テキスト]をクリックします①。



②[ツールオプション]ダイアログで文字の設定をします。

② [フォント] : [Arial Bold]

③ [サイズ] : [80px]

④ [色] : [白]

✚ フォントは、⑤をクリックすると表示されるウィンドウで切り替えられます。



- ③文字入力の基準位置として⑥あたりでクリックし、キーボードで文字を入力します。ここでは[MERRY CHRISTMAS]と入力しました。



- ✚ [テキスト]ツールでクリックした位置を基準に文字が入力されます。

- ④[レイヤー]ダイアログを見ると[テキストレイヤー]が作成されています⑦。



- ✚ 文字を入力すると[テキストレイヤー]が自動で作成されます。[テキストレイヤー]は文字を追加するたびに追加されます。[テキストレイヤー]のレイヤー名は、入力した文字列になります。

## 2 入力した文字を修正する

- ①一度入力した文字を修正する場合は、[テキスト]ツールで修正したい文字部分をドラッグして選択します①。選択した文字には黄色い枠が表示されます②。



- ②文字を入力し直すと選択した部分が置き換えられます。[ERRY]を[erry]に修正しました③。



- ③続けて[HRISTMAS]も修正し、[Merry Christmas]にしました④。

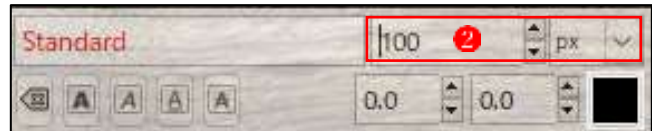


### 3 サイズを変更する

①現在のツールが[テキストツールで、[レイヤー]ダイアログで対象の[テキストレイヤー]が選択されていることを確認します。すべての文字をドラッグして選択します①。



②文字列上側に表示される[テキストツールバー]でサイズを変更します。ここではサイズを[100px]に変更しました②。



③文字の位置を移動する場合は、テキストボックスの四隅に表示されている□③をドラッグして調整します。④のように調整しました。



✚ 文字は移動ツールでもレイヤー画像と同様に移動できます。

#### Step Up [テキストツールバー]の使い方

[テキストツールバー]では、選択している文字に対して、フォント、サイズ、色の変更、斜体・下線・取り消し線などの文字飾りの設定、ベールラインの変更、カーニング（前の文字との間隔）が設定できます。

#### 4 テキストエリアを作成して文字を追加する

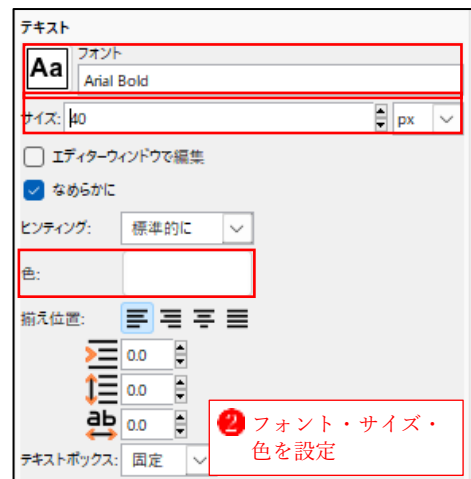
さらに別の文章を追加します。

- ①[ツールボックス]の[テキスト]をクリックします。先に入力した文字以外の画面上をドラッグして、テキストボックスを作成します。

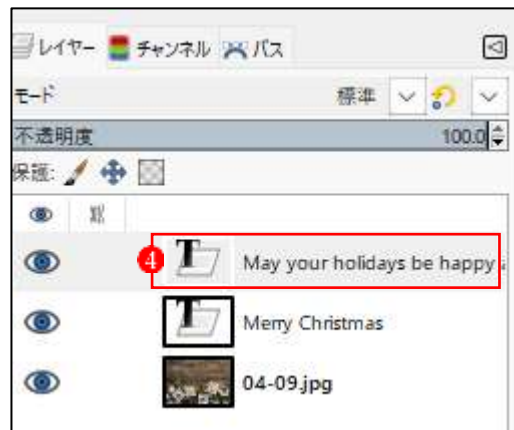


- ✚ テキストボックスを作成指定から入力すると、テキストボックスの右端で文字が自動的に折り返されます。長い文章を配置したい場合は、この方法が便利です。

- ②[ツールオプション]ダイアログで、フォント・サイズ・色を設定します②。



- ③文字を入力します。ここでは、[May your holidays be happy and joyful!]と入力しました③。[レイヤー]ダイアログには新しい[テキストレイヤー]が作成されます④。



- ④テキストボックス四隅の□をドラッグして文字位置を調整すれば、グリーティングカードの完成です。

